

で〜れ〜BOOKS 2019

で〜れ〜BOOKSとは、岡山の高校図書館による **高校生向けのおすすめ本** コンテストです。図書館には **多様なジャンルの本**があることを知ってもらいたい！という願いから、小説以外の本を選考対象としています。岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会が主催して毎年実施しており、**今回が第6回目**となります。

大賞 大家さんと僕

矢部 太郎 / 新潮社

著者からメッセージをいただきました！

皆様、ごきげんよう。カラテカの矢部太郎です。この度は「で〜れ〜BOOKS2019」大賞にお選び頂きありがとうございます！で〜れ〜嬉しいです！（使い方合っていますでしょうか？）岡山県は父の生まれ育った県で親戚もたくさん住んでいるので、その岡山のみなさんに選んでもらえて大変光栄です。学生時代、いつもひとり図書室で僕は本を読んでいました。そこで読んだ本たちは悩みや不安な気持ちを忘れさせてくれました。僕の本が誰かにとって、もしそうであったなら、またとない幸せです。いや、で〜れ〜幸せです。ありがとうございました。

【おすすめコメント】

「大家さん」と「僕」の交流が温かくて、せちがらいニュースに触れることが多い中、ホッと心の緊張がほぐれます。／とても穏やかな流れで、時に心がジーンとする場面があり、**優しい気持ち**になれる。ユーモラスな視点で描かれていて楽しい。すでに話題の本ですが、この年のおすすめとして残したい1冊です。／現代社会で消えつつある**温かさを感じた**。／違う年代の人と接することが少ない人こそ、読んでみませんか？／上品かつかわいい大家さんと矢部さんお互いを気にして暮らす姿は、人付き合いが薄くなりがちな昨今に「近所づきあいとか、ちょっといいな」と思わせてくれます。／読んだことない人は取りあえず本を開いてみてほしい！ 続きを読みたくなる本でした。／大家さんがとにかく魅力的！／何気ないやりとりの中に、核家族では経験できない**人生の大切な教え**がたくさん描かれている。 で〜れ〜BOOKS 2019



2位 AI vs.教科書が読めない子どもたち

新井 紀子 / 東洋経済新報社

AIがもたらす**世界**について考えを深めることができる。高校生も含めすべての人へお薦めできる本。／読むだけでなく、問題を解いていく楽しみもあります。自分の読み取り力のなさに、私はショックを受けました。ぜひチャレンジしてください！／一人でも多くの人がこの本を読み、この状況を受け止め、一人一人がこれからに向けて何ができるか考えていく必要がある。

で〜れ〜BOOKS 2019



3位 選べなかった命

出生前診断の誤診で生まれた子

河合 香織 / 文藝春秋

なかなか答えが出てくるものではないけれど、まずはタブーを取っ払って、語り合おうという作者の言葉に共感してほしい。／これから先、**命**を選択する場面に出くわすかもしれない。様々な立場に立って、考えてみて欲しい。／知っておかなければならないこと、考えなければならぬことがある。本を読む意味のひとつはそこにあるのではないでしょう。 で〜れ〜BOOKS 2019



世界は変形菌でいっぱい

増井 真那
朝日出版社

わからないことを調べて、工夫して、どんどん掘って行って知識が深まり、世界が広がる・・・ワクワクする本だと思います。／何歳からでも夢は叶えることができ、無限の可能性があると思った。／5歳から好きなことを追究してきた彼は、16歳にして変形菌のプロ！ 自ら多くの人と出会い、世界を広げていく姿を見て欲しい。／**夢中になれるものがある**ってスバラしい！／なにかを突き詰めて探求することに対して、前向きな元気をもらえます。

で〜れ〜BOOKS 2019



注文をまちがえる料理店

小国 士朗
あさ出版

認知症を抱える人が接客をする期間限定のレストラン。ここではたくさん間違いが起きるが、それ以上にたくさんの笑顔があふれている。他人を理解し**受け入れることの大切さ**を教えてくれる本。／誰かの役に立つ、誰かに必要とされるって嬉しいし自信につながりますよね！／考えかたひとつで、事象への対応や心の持ちようは変えられるのだなど、あらためて思いました。／温かい心が伝わってきます。日常でも「まあいいか」と思える心の余裕を持ちたいですね。 で〜れ〜BOOKS 2019



髪がつなぐ物語

別司 芳子
文研出版



自分の髪を寄付する子どもたち、ウィッグを受けとる子どもたちの思いに触れて欲しい。／誰もが誰かのためにできることがあるということを感じてくれるといいなと思います。／ヘアドネーションの物語。それに関わる色々な人の働きや、温かな思いに胸があつくなる。／提供する側、受ける側、それぞれの気持ちと交流が温かく感じられます。／自分の髪が誰かを助けるボランティアになる、まさに人をつなぐ物語だと感じた。

でーれーBOOKS 2019

学校に行きたくない君へ

全国不登校新聞社 編
ポプラ社



当事者参加型の「不登校新聞」。今まで新聞に掲載された中で人気のインタビュー記事を選びまとめた本です。いろいろな方々の経験や考え方、人生観が見えてとても面白い一冊です。／誰もが知っているあの人も学校に行きたくなくて、そんな時期をこうして乗り越えたり、いなしてきたんだな、と思うだけで少しは楽になれるのでは。／共感できるものも共感できないものも、たくさんの知恵が詰まっています。学校に不満のない人も、柔軟に考えて生きるヒントに。

でーれーBOOKS 2019

でーれー
BOOKS

2019

高校生向け
でーれー一本。



15歳のコーヒー屋さん

発達障害のぼくができることから ぼくにしかできないことへ

岩野 響 / KADOKAWA



発達障害を抱える15歳の少年が、生きる道を探す物語。周囲に支えられながら、コーヒー焙煎士の道を進んでいく。すべての高校生に読んでほしいと思える内容です。／やさしく素直な文章で読みやすく、発達障害のことがよくわかった。／たいへんな経験をしながら成長していく著者の葛藤、また家族や周囲の人々の思い。世界でオンリーワンの生き方を懸命に模索する姿は、進路に迷っている高校生、生きづらさに悩んでいる人に勇気を与えます。

でーれーBOOKS 2019

人生を狂わす名著50

三宅香帆
ライツ社



本の紹介の仕方がとても面白い。この本をきっかけに、次々といろんな本を読んだくなります。／読書の幅が広がれば見えてくる世界が違って来る。そのための絶好のガイド。／読んだことのない本は読みたくなるし、既読の本はもう一度読みたくなる、すごい読書案内でした。／この本の中で紹介された本を探して、読書の幅が広がりそうなので。／いい本に巡り合いたい人におすすめ。表紙のイラストも素敵。

でーれーBOOKS 2019

本の本

夢眠書店、はじめます

夢眠 ねむ / 新潮社



本を手に取りたくなる本です。

／本がどのようにつくられ、流通していくのかがわかりやすかった。／もっと本を読んでほしい。あなたの手にとってもらうために、こんなにがんばっている人たちがいます。／1冊の本を作ること、本を売ることの大変さをねむさんが体当たりで教えてくれます。／本好きなら誰もが感じる疑問や興味、個性ある本屋さんに行きたくります。

でーれーBOOKS 2019

多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。

Jam マンガ・文 名越 康文 監修 / サンクチュアリ出版



考え方ひとつでぐだぐだ考え込むことがなくなる！この本のタイトルを見て「ほんとにそうだわ…」と目から鱗が落ちました。／人間関係に悩んだ時に心が軽くなる！／気にしすぎることの多い日常の出来事を、とても分かりやすくほぐしてくれる一冊でした。ネコのキャラがかわいくて、「あるある」とうなずきながら読みました。

でーれーBOOKS 2019

「国境なき医師団」を見に行く

いとう せいこう
講談社



世界を視野に入れる、使命感から仕事する、そんなことを気軽に学べる名著。／世界で起こっている困難を身近に感じることができる。取材を通して著者が出した答えが素晴らしい。／「遠い国」のイメージが、いとうさんの文章で身近に感じます。立派な人だけがやることじゃない。私たちと同じ高さから見た景色を文章にしてくれていて、気張らずに読めます。

でーれーBOOKS 2019